

# 令和2年度 山口県重要魚種の資源評価一覧表

低位資源は赤字、高位資源は青字で示しています。

詳細な数値を知りたい方は、水産庁HP「令和2年度魚種別系群別資源評価を参考にして下さい。」

HPアドレス <http://abchan.fra.go.jp/digests2020/index.html>

以下、上記HPに公開されたダイジェスト版から抜粋した内容を一覧表にまとめました。

## 日本海側系群

魚種名	系群名	目標管理基準案 <sup>*1</sup>	限界管理基準案 <sup>*2</sup>	禁漁水準案 <sup>*3</sup>	2019年の親魚量	MSY <sup>*4</sup>
1 マイワシ	対馬暖流系群	109.3万トン	46.5万トン	6.6万トン	19.4万トン	33.8万トン
2 マアジ	対馬暖流系群	25.4万トン	10.7万トン	1.6万トン	28.3万トン	15.8万トン
3 マサバ	対馬暖流系群	31.0万トン	14.3万トン	2.2万トン	22.6万トン	32.3万トン
4 スルメイカ	秋季発生系群	32.9万トン	18.9万トン	3.0万トン	22.5万トン	27.3万トン

<sup>\*1</sup> MSYを実現する親魚量、<sup>\*2</sup> MSYの60%の漁獲量となる親魚量、<sup>\*3</sup> MSYの10%の漁獲量となる親魚量、<sup>\*4</sup> 最大持続生産量

## 日本海側系群

凡例: ↑ 増加、→ 横ばい、↓ 減少

魚種名	系群名	資源の水準・動向	
		水準	動向
5 ウルメイワシ	対馬暖流系群	中位	↓
6 <b>カタクチイワシ</b>	対馬暖流系群	<b>低位</b>	→
7 <b>アカアマダイ</b>	日本海西・九州北西	<b>低位</b>	→
8 <b>ブリ</b>		<b>高位</b>	↓
9 マダイ	日本海西部・東シナ海系群	中位	→
10 キダイ	日本海・東シナ海系群	中位	↓
11 <b>サワラ</b>	<b>東シナ海系群</b>	<b>高位</b>	→
12 ヒラメ	日本海西部・東シナ海系群	中位	→
13 <b>ムシガレイ</b>	<b>日本海系群</b>	<b>低位</b>	↑
14 ソウハチ	日本海系群	中位	↑
15 <b>ウマヅラハギ</b>	<b>日本海・東シナ海系群</b>	<b>低位</b>	→
16 <b>ケンサキイカ</b>	<b>日本海・東シナ海系群</b>	<b>低位</b>	↓

## 日本海・東シナ海・瀬戸内海系群

魚種名	系群名	資源の水準・動向	
		水準	動向
1 <b>トラフグ</b>	<b>日本海・東シナ海・瀬戸内海系群</b>	<b>低位</b>	↓

## 瀬戸内海側系群

魚種名	系群名	資源の水準・動向	
		水準	動向
1 カタクチイワシ	瀬戸内海系群	中位	↓
2 <b>マダイ</b>	<b>瀬戸内海中・西部系群</b>	<b>高位</b>	↑
3 サワラ	瀬戸内海系群	中位	↑
4 <b>ヒラメ</b>	<b>瀬戸内海系群</b>	<b>高位</b>	↑